

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	880 消防庁舎施設維持整備事業									
予算科目	01-090103-11 常備消防施設に要する経費					担当部課	消防本部消防総務課			
市長公約						係名	経理係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（義務）			
						事業体制	全て委託			
個別計画						事業期間	毎年度			
根拠法令等	電気事業法、消防法、建築基準法、建築物における衛生的環境の確保に関する法律					SDGs	11住み続けられるまちづくりを			

事業の概要

対象	消防庁舎（本部庁舎他 8 庁舎）									
目的	災害発生時の防災拠点となる消防庁舎の施設・設備等を計画的に整備改修し、機能保全と職場環境を維持管理するもの。									
概要 （取組内容）	消防庁舎の施設及び設備の整備改修 ※必要な工事に対して優先順位をつけ、計画的に実施するとともに、突発的な庁舎等の施設及び設備の改修・修繕について必要性・重要度を考慮し対応する。									

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	378,832	110,524	124,258	142,897	142,897	
	決算額	(千円)	237,477	106,839	106,343	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	-3,528	89,679	68,243	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	240,700	17,160	38,100	0	0
		その他	(千円)	305	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	5,263	8,770	7,150	7,150	7,150	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.75	1.25	1.00	1.00	1.00
		正職員時間外勤務	(時間)	56.40	105.00	100.00	100.00	100.00
		会計年度任用職員有無	(一) 無	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	工事請負による修繕工事数・修繕料による施設等修繕数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	10.0	13.0	18.0	15.0	11.0	0.0
	実績	27.0	30.0	43.0	30.0	33.0	0.0
	指標の概要	工事請負による修繕工事数・修繕料による施設等修繕数					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		突発的な改修に対応し、柔軟性を持った改修を行うことができた。
成果		事業計画された修繕、及び突発的に発生した庁舎施設等の不具合に対し修繕を施し、庁舎の健全な機能を保持することで良好な職場環境を維持管理することができた。
課題	業務	職場における安全衛生環境を保持するため、各居室の照度、空調環境、及びプライバシー保護等の施設整備を順次実施していく中で、突発的な故障対応にも柔軟に取り組んでいく必要がある。
	組織、予算等	物価高の影響により工事価格も大幅な増額となり、例年通りの工事件数を予算化することが困難な状況となっているため、重要度や緊急度の見極めが必要となる。
改善目標		計画的な改修工事を実施しているが、老朽化してきている施設の維持管理には、予測できない故障が発生するため、自己修理や故障予防等の知識の向上が必要である。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	881 消防事務連絡車維持管理事業									
予算科目	01-090103-11 常備消防施設に要する経費					担当部課	消防本部消防総務課			
市長公約						係名	経理係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	全て委託			
個別計画						事業期間	毎年度			
根拠法令等	つくば市公用車の適正管理及び安全運行に関する規程					SDGs	11住み続けられるまちづくりを			

事業の概要

対象	消防事務連絡車									
目的	消防業務車両の点検整備を計画的に実施することで、機能を適正に維持管理し、消防業務の円滑な運営を確保する。									
概要 (取組内容)	消防事務車両の車検整備を行うとともに、各種修繕を行い公用車の安全運行を確保する。									

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	9,835	12,441	11,889	14,367	14,367	
	決算額	(千円)	9,371	10,203	12,074	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	9,371	10,203	12,074	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	5,263	7,024	7,101	7,101	7,101	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.75	1.00	1.00	1.00	1.00
		正職員時間外勤務	(時間)	56.40	87.50	80.00	80.00	80.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	事務連絡車の車検整備実施数 (台)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	5.0	6.0	3.0	5.0	2.0	1.0
	実績	5.0	6.0	3.0	5.0	2.0	0.0
	指標の概要	事務連絡車の車検整備実施数					

2	指標名	消防バスの法定点検の実施数 (回)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	4.0	4.0	4.0	3.0	3.0
	実績	0.0	4.0	4.0	3.0	3.0	0.0
	指標の概要	消防バスの法定点検の実施数					
3	指標名	各種車両修繕の実施数 (台)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	3.0	3.0	3.0	3.0	1.0
	実績	0.0	6.0	3.0	1.0	1.0	0.0
	指標の概要	各種車両修繕の実施数					
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		バス、寄贈車両以外をすべてリース化し、安全円滑な運用を図れた。
成果		損傷に伴う部品等の交換修繕を行い公用車の安全運転を確保し、業務における公用車の円滑な使用に努めることができた。
課題	業務	半導体不足等の納期遅延が各自動車メーカーに発生していることから、公用車の更新時期に影響がないよう効率よく事務を進める必要がある。 公用車の使用頻度が高く各課管理の車両数では台数不足を感じる。
	組織、予算等	現在の予算額では、新規による公用車の増台は困難であるが、業務上必要な台数の整備をしていく必要がある。
改善目標		自家用車に相乗りでの入校や研修があり、旅費の支出も考慮していかなければならず。今後も公用車の増台を検討していく必要がある。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	2	国、県、民間等で事業を担うことが可能である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	－

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	882 消防職員教育訓練研修事業																				
予算科目	01-090101-11					消防総務に要する経費					担当部課	消防本部消防総務課									
市長公約													係名	人事係							
戦略プラン															新規・継続	継続					
															事業分類	自治事務（義務）					
															事業体制	全て委託					
個別計画											事業期間	毎年度									
根拠法令等											消防組織法										SDGs

事業の概要

対象	職員
目的	災害の多様化や消防技術の発展に対応する専門教育の受講によって、知識及び技能の効率的な習得を図り、消防職員の資質を高める。
概要 (取組内容)	消防庁消防大学校、茨城県立消防学校及び救急救命研修所等への委託研修を実施、さらに労働安全衛生法に基づく研修を受講させる。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	9,695	24,651	21,197	22,853	22,853	
	決算額	(千円)	7,131	21,440	17,100	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	7,131	21,440	17,100	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	8,854	8,831	10,603	10,603	10,603	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.25	1.25	1.50	1.50	1.50
		正職員時間外勤務	(時間)	128.00	130.00	100.00	100.00	100.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	消防職員教育訓練研修者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	71.0	76.0	67.0	72.0	60.0	72.0
	実績	58.0	46.0	44.0	64.0	62.0	0.0
	指標の概要	消防職員としてのスキルアップを図るため、消防学校、消防大学校及び救急救命研修所等の委託研修					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		各種研修の日程を考慮して、休暇期間等が重複しない所属からの人選や、当務員の調整により人員確保が可能な署所から人選をすることにより、概ね計画的な研修の派遣ができた。
成果		制限されていた研修等も再開され、計画していた研修に職員を派遣させることができ、その研修等において習得した知識や技術を他の職員へ展開して、職員育成が図れた。
課題	業務	消防学校教育や各種研修は人材育成の観点から欠かすことができず、計画的に各種研修への派遣が求められる。育児休業や看護休暇等の取得による人員確保を考慮すると、今後、計画どおりの派遣をすることが厳しい状況である。
	組織、予算等	業務遂行上、必要となる研修派遣を継続していくと、人員不足が生じる。
改善目標		職員が希望する研修等に一人でも多く派遣するため、受け入れ枠の増員を求めている。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	－	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	－

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	883 消防職員の健康管理事業																	
予算科目	01-090101-11					消防総務に要する経費					担当部課	消防本部消防総務課						
市長公約													係名	人事係				
戦略プラン										新規・継続			継続					
										事業分類			自治事務（任意）					
										事業体制			全て委託					
個別計画											事業期間			毎年度				
根拠法令等											労働安全衛生法			SDGs			11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	職員
目的	職員の健康管理及び交替制勤務者の災害現場等における安全確保を図る。
概要 (取組内容)	職員に対して健康診断及びストレスチェックを実施する。 現場活動を行う職員を対象として、B型肝炎抗原抗体検査を実施し、抗体陰性者に対しワクチンを接種する。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	7,405	6,408	6,056	6,485	6,485	
	決算額	(千円)	7,405	5,440	5,423	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	7,405	5,440	5,423	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	8,854	8,727	10,567	10,567	10,567	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.25	1.25	1.50	1.50	1.50
		正職員時間外勤務	(時間)	128.00	87.50	85.00	85.00	85.00
		会計年度任用職員有無	(一) 無	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	消防職員の健康診断等受診者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	1,056.0	1,040.0	1,178.0	1,184.0	1,147.0	1,140.0
	実績	1,037.0	1,044.0	1,160.0	1,163.0	1,051.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		予算額の増額を図れなかったが、罹患するおそれが高い現場活動が予想される職員から実施した。
成果		前期において交替制勤務者を対象とした特定業務Ⅰ健康診断、後期に全職員の健康診断（人間ドック含む）及びストレスチェックを実施したことにより、職員の健康状態を把握でき適正な職員管理が行えた。また、前年度の抗体陰性者へのワクチン接種、計画に基づく抗体検査を実施し、次年度のワクチン接種計画を策定した。
課題	業務	救急業務等の災害活動上、罹患する可能性を排除するため、計画的な抗体検査・ワクチン接種が必要である。
	組織、予算等	抗体検査・ワクチン接種の費用が年々高騰していることから、予算の増額が必要となる。
改善目標		年度計画に基づいた抗体検査・ワクチン接種を実施し、抗体陰性者と判定された職員に対しては、早急なワクチン接種を実施していく。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	－	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	－

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	884 消防吏員被服整備事業																				
予算科目	01-090101-11					消防総務に要する経費					担当部課	消防本部消防総務課									
市長公約													係名	経理係							
戦略プラン															新規・継続	継続					
															事業分類	自治事務（義務）					
															事業体制	全て委託					
個別計画											事業期間	毎年度									
根拠法令等											消防組織法、つくば市消防吏員服制規則	SDGs	11住み続けられるまちづくりを								

事業の概要

対象	消防吏員									
目的	つくば市消防吏員服制規則に基づく被服の整備により、消防吏員としての秩序と組織的活動を確保する。									
概要 (取組内容)	規則に基づき消防吏員に対し災害現場活動又は事務執行時に適した被服品を貸与し、職務遂行時の消防吏員としての規律と品位を保持する。									

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	15,742	20,577	20,239	21,792	21,792	
	決算額	(千円)	16,186	20,421	20,346	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	16,186	20,421	20,346	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	7,017	8,758	7,101	7,101	7,101	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.00	1.25	1.00	1.00	1.00
		正職員時間外勤務	(時間)	75.20	100.00	80.00	80.00	80.00
		会計年度任用職員有無	(一) 無	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	被服購入数 (品)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	2,614.0	2,807.0	2,333.0	2,764.0	2,459.0	2,674.0
	実績	2,945.0	3,492.0	2,058.0	3,211.0	2,510.0	0.0
	指標の概要	消防吏員被服等給貸与品規則に定められた被服品数					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		—
成果		年度を通して被服給貸与品の契約締結、及び年２回の新規採用者に対する適切な被服品の給貸与を管理することができた。
課題	業務	ガイドライン変更に伴う被服品の見直しにより、現場活動における安全確保の重要性和、全職員の給貸与品の入替え管理が複数年に及ぶ事業となることから、被服整備事業としての迅速性が求められる。
	組織、予算等	原油価格や物価の高騰が続いており、現場活動の隊員に対する被服品貸与が必要最低限のものでしか補えていない状況である。
改善目標		現場活動における隊員の安全性や快適性を考慮し、より低価格で機能性のある被服品の整備をしていく必要がある。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	885 消防職員委員会運営事業									
予算科目	01-090101-11 消防総務に要する経費					担当部課	消防本部消防総務課			
市長公約						係名	総務係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（義務）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画						事業期間	毎年度			
根拠法令等	消防組織法、つくば市消防職員委員会規則					SDGs	11住み続けられるまちづくりを			

事業の概要

対象	職員
目的	職員の士気を高め、円滑な消防事務の運営に資する。
概要 (取組内容)	消防職員の中から推薦又は消防長から指名された計18人で構成された委員会で、消防職員から提出された意見に対し審議し、審議結果及び意見を消防長に提出する。消防長は意見の趣旨を尊重し実施することが適当であると認められるものについて、予算要求・調整を行う。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
事業費	予算額	(千円)	0	0	0	0	0
	決算額	(千円)	0	0	0	0	0
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	5,185	10,277	8,695	8,695	8,695
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.75	1.50	1.25	1.25
		正職員時間外勤務	(時間)	24.50	25.00	25.00	25.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	消防職員委員会審議数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	4.0	4.0	3.0	1.0	1.0	0.0
	指標の概要	消防職員から提出された意見のうち、実際に審議された意見数					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		-
成果		消防職員委員会制度の趣旨に沿った円滑な運用ができた。
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標		特になし

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	886 消防統計、消防年報の編集発行事務											
予算科目	01-090101-11 消防総務に要する経費					担当部課	消防本部消防総務課					
市長公約							係名	企画係				
戦略プラン								新規・継続	継続			
								事業分類	自治事務（義務）			
								事業体制	職員のみ			
個別計画							事業期間	毎年度				
根拠法令等							消防組織法	SDGs	11住み続けられるまちづくりを			

事業の概要

対象	市民ほか、消防庁、全国消防長会等依頼機関									
目的	つくば市の消防現勢や消防・救急・救助等の活動概要の統計及び消防年報を、広く市民等に周知することで、防災に役立ててもらふ。									
概要 (取組内容)	全国規模の消防統計調査におけるつくば市の消防現勢等を総務省消防庁及び全国消防長会へ回答する。消防年報を編集発行し、つくば市ホームページへの掲載及び図書館等に冊子を提供する。									

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
事業費	予算額	(千円)	0	0	0	0	0
	決算額	(千円)	0	0	0	0	0
	内 訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	5,185	10,277	8,695	8,695	8,695
	内 訳	正職員従事割合	(人)	0.75	1.50	1.25	1.25
		正職員時間外勤務	(時間)	24.50	25.00	25.00	25.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		－
成果		各統計調査について、調査期日までに調査結果を報告することができた。 また、消防年報をホームページに掲載することで、市民及び庁内への適切な情報提供を行うことができた。
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標		特になし

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	－